

アガヘ No.57

総主事 堤 弘雄

持つことから、在ることへの転換

国民の97%が幸福と実感し、自殺者ゼロの国、40年前には国土の5割以下だった森林面積が現在は7割以上に回復し、経済成長GNP(国民総生産)ではなくGNH(グロス・ナショナル・ハピネス=国民総幸福量)を国の指標とし、独自の「豊かさ」を目指すブータンという国があります。

ブータンの人々は現在、大乘仏教を国教として独立して、チベット仏教の生活様式、あるいはその世界観や価値観にもとづいて生きています。注目したいことは、人間は自分たちが大切にしている価値観によって、このように幸せに対する感じ方が違ってくるということです。日本人は西欧近代文明の価値基準だけで世の中を判断してしまっているのかもしれませんが。私たち日本人は物質的な豊かさや、情報や交通の速さだけが豊かさではないことにすでに気付いています。だからといって、新たな幸福感や豊かさを手にしているわけではありません。

ブータンの人々から学ぶことのできるヒントは“持つ”ことの豊かさから“在る”ことへの豊かさへの転換にあると思います。それは、神様が創造された自然や人間との豊かな交わり、人間の内に潜む可能性の開花としての音楽や創作などの芸術活動、祈ること、人の喜びを自分の喜びとできるなどの精神的な活動です。すなわち、物質的に“持つこと”ではなく、自分自身の内面の“心”や“たましい”など目に見えない“在る”ことを充実させることが大切ではないでしょうか。日本にもGNH(国民総幸福量)というモノサシをつくり、違う視点から国民を幸福にする政策が必要だと思えます。



競技は、事前に予想したタイムと実際のタイムとの差を競う「宣言タイムレース」で、思い思いの衣装に身を包んだランナーたちが2コースに分かれ、タスキをつなぎました。また、昨年に続き実施された「チャレンジコース」では、途中で「けんけんぱ」を跳んだり、お玉やスプーンでピンポン玉を運ぶ課題が設けられており、奮闘するランナーの様子が大きな歓声を呼びました。



競技終了後には、恒例のおたのしみ抽選会に加え、全員参加の大ジャンケン大会が行われ、各企業・団体の代表者を相手に参加者がグー、チョキ、パーと拳を振り上げ白熱しました。大会参加費とおたのしみ抽選券の売上は、児童養護施設や病院で過ごす子どもたちへクリスマスプレゼントを届けるため、子どもたちを支えるボランティア団体への寄付として役立てられます。

チャリティ大 駅伝大会
支援が必要な子どもたちを思いタスキリレー

こどもえいごスクール生 『円周率』をテーマに 中学校英語弁論大会に出場

ながみねファミリーYMCA こどもえいごスクールに在籍の喜多大輝さん(中2)が、10月6日(水)に行われた熊本県中学校英語弁論大会シヨートスピーチ部門に出場しました。今回スピーチ大会には、普段から英語に親しみ、英語に熱心な喜多さんの姿勢が中学校の先生から評価され、学校の推薦を受けての出場となりました。喜多さんは学校や部活動で忙しい中、時間を見つけてはYMCAに来て、担任の坂田能子先生(写真右)と一緒に練習を重ねてきました。本番では、小数点以下の数字が限りなく続くところに面白さを感じ、80桁まで暗記したという得意の「円周率」をテーマに、自分自身の体験を英語で堂々と表現しました。



「本番はかなり緊張してしまいましたが、先生から指導



されたことを思い出しながら、自信を持ってスピーチすることができました」と笑顔で感想を述べてくれた喜多さん。来年の目標はロングスピーチ部門への出場とのこと。これからの活躍がますます楽しみです。

ながみねファミリーYMCA 大谷優美

多文化共生が平和のキーワード 世界を感じるピースセミナー

開催日時/2010年11月13日(土)10時半~11時半
開催場所/ながみねファミリーYMCA
熊本YMCAでは11月を平和月間と定め、様々な取り組みが行われています。ながみねファミリーYMCAではタビスト&エッセイストのかじえいさんを招き、ピースセミナーを開催。かじえいさんは、著書『地球はわが家の教室 子育て400日間世界一周』の経験をもとに、「南の島で食べたピラニアは実は汚物処理もしてくる」「世界で一番幸せな国と呼ばれる国では盆栽が流行っている」などワールドワイドな話を展開し、世界の平和はお互いが違いを知ることから始まると話されました。



実は汚物処理もしてくる」「世界で一番幸せな国と呼ばれる国では盆栽が流行っている」などワールドワイドな話を展開し、世界の平和はお互いが違いを知ることから始まると話されました。

「ひまわり」誕生10周年

開催期間/2010年11月21日(日)~26日(金)
開催場所/中央YMCAフリースペース
自立の店「ひまわり」が10周年を迎え、「ひまわり」を支える関係者ら約100人が集まる中、感謝の集いが開かれました。「ひまわり」は、知的障がいのある人たちが(チャレンジ)が働く施設や作業所の製品を委託販売する店として2000年に誕生。現在は、チャレンジが働くパン工房とカフェも運営されています。10周年感謝ウィークとして5日間、パン作り体験や音楽演奏などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

